



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番99号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2007

インターネット
号外

ご購入のお問い合わせは
東奥日報社読者局



0120-46-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

安倍首相が辞意

国政混迷で引責



安倍晋三首相

安倍晋三首相は十二日、閣僚らの不透明な政治資金処理問題などで国政が混迷した責任を取って、辞任する意向を自民党幹部に伝えた。参院選での自民党惨敗にかかわらず統投を選択したことへの批判は依然根強く、改造後も支持の大幅改善がみられないことなどから、党内には「安倍首相で衆院選は戦えない」との空気が強まっていた。

首相の辞意を受け、自民党は早期に総裁選を実施し、新総裁を選出する見通し。安倍首相を支えてきた麻生太郎幹事長らを中心に、後継選びが進むものとみられる。首相は選挙後も「改革を続行することが私の責任だ。政治空白をつくるべきではない」と、引き続き政権を担う方針を強調。党役員人事、内閣改造で「人心一新」を図り、政権の立て直しをしたばかりだった。

ただ、八月二十七日の改造直後に遠藤武彦農相が組合長理事を務める農業共済組合で国からの補助金不正受給が発覚し、遠藤氏は辞任。さらに鴨下一郎環境相、上川陽子少子化担当相と相次いで不透明な政治資金処理問題が発覚。野党側は首相の任命責任を問題視し、問責決議案提出も視野に攻勢を強めていた。

詳細は朝刊で